

終わったあと、私は池田先生に、「このあとアテネ・フランセがあるのです、ペレ先生に習っていますが、授業ではなぜか私だけが道化のように痛罵されています、今日も宿題があり準備はしてきたのですが自信がないのです」などなど、辛い胸の内を明かした。すると、池田先生が宿題をみてくださるなんて予想もしないことが起きた。なんでも、池田先生も、かつてペレ先生に習われたとのことで、私の話になにかを熱く思い出されたご様子である。私のノートには達意のフランス語が書き込まれていった。

池田ノートを手にして、その日のアテネ・フランセで、私は、確かにいつもよりうまく会話をすることができた。だから、ペレ先生からの攻撃は減った。「カタストロフ！」は無かった。けれども、どうにもつまらない。他人の言葉で話をしてしまった私は、全然楽しくない。「池田先生には申し訳ないけれど、次からは、また自分で宿題をしよう」、そう心に決めた。

*

語学の勉強は、ときに辛いことがあるし、一人でしなければいけないことがらも多くある。そうではあるけれども、私の場合、語学の勉強の記憶は、甘くても、ほろ苦くても、いつも誰かと繋がっている。語学を通じて誰かと一緒に泣き笑いをした。私は、やっぱり、どうしても、人との思い出になる。

大学における英語学習の意味： 英語との心地よい付き合い方を見 つけよう

語学教育研究室
古荘 智子

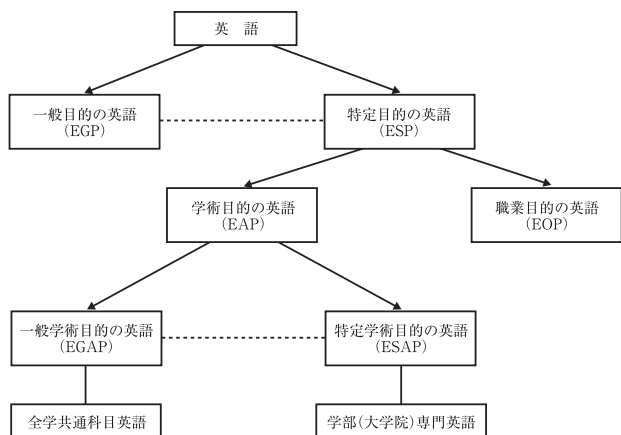
1. はじめに

皆さんは今までに自分が英語を学ぶ理由を考えたことがありますか。英語が入試科目の1つである以上、中学では「高校入試のため」、高校では「大学入試のため」というのが英語学習の大きな目標であったらと思います。大学に入学し、英語を専門としない学部の学生さんの中には「やっと英語から解放される！」と期待しておられた方も多いのではないのでしょうか。大学での英語は専門科目ではないのだから、「単位取得」が英語を学ぶ最たる目的となっている方も少なくないと思います。

そもそも大学ではなぜ英語の授業が行われているのでしょうか。今回は、前半では大学における英語の位置づけを理論と現実の両面から考え、後半では、自律的に楽しく英語と付き合える一つの方法として、情報メディアを利用した学習法を紹介したいと思います。

2. 大学における英語教育の位置づけ

英語教育の研究者たちの間では、第二外国語としての英語教育の目的について、長年にわたり繰り返し議論がなされています。最近の動向では、大学での英語教育の目的を「一般目的の英語」(English for General Purpose)と「特定目的の英語」(English for Specific Purpose)の2つに大きく分け、特定目的の英語は、さらに細かく分類され、それぞれの目的が明確に示されています。¹⁾



私が担当している本学名古屋校舎における必須英語の授業（1回生）は、論説英文講読とTOEICの2科目ですが、論説英文講読は「主としてすべての専門分野に共通する学術的言語技能を対象とする」EGAPに、TOEICは「実践的コミュニケーション能力を養うことを目的とした」EGPに該当すると考えられます。大学が高等教育機関として、中学・高等学校とは異なった、高度な学問を学ぶ場であるとするならば、専門領域に特化したアカデミックな文章を読み書きするための英語力を養うESPが大学英語教育の主流になるべきであり、高等学校の英語の延長線上にあるEGPは必要ないように思われます。

3. なぜ大学はTOEICに力を入れるのか？

しかし、現実には本学と同じように、日本の多くの大学でTOEICを積極的に授業に取り入れ、

TOEICのスコアアップを奨励しています。大学によっては、ミニマムスコアが450点、550点と設定されており、ミニマムをクリアできなければ卒業することができない、というところも少なくありません。なぜこれほどまでに大学がTOEICを重視するのでしょうか。実はTOEICが大学の英語に取り入れられるようになったのは、ついここ15年ほどのことなのです。

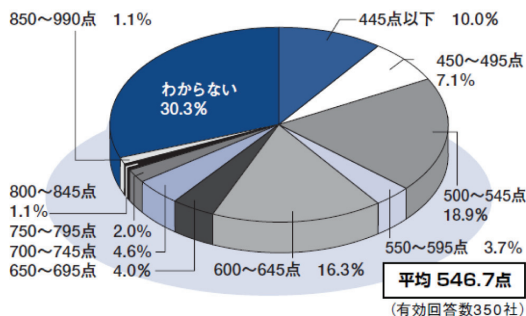
大学における英語教育の在り方をより現実的な視点からとらえてみると、大学がTOEICを無視できない大きな理由として、日本の企業がTOEICを社員の英語力の指標として採用していることがあげられます。²⁾ IT革命によってボーダレス化が進み、世界共通語である英語を使って仕事ができる人材確保・育成は、日本の企業にとって重要な課題となりました。どんなに優れた研究・開発をしても、英語で発信できなければ、世界に知らせることはできません。インターネットで発信される情報の80%以上が英語であるという現実を考えれば「英語が使える社員」の確保は、企業にとって必須であろうことも納得できます。

財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会³⁾が公表しているデータによると、2010年度のTOEIC実施企業数は808社、34,578名が受験していると報告されています。下記のサイトでは、2009年度におけるIPテストのデータが業種別にまとめられていますので参考にしてください
(http://www.toeic.or.jp/sys/letter/NewsNR2010L_8682.pdf)。

企業・団体におけるTOEIC®テストの活用

新入社員に期待するTOEICスコア※1

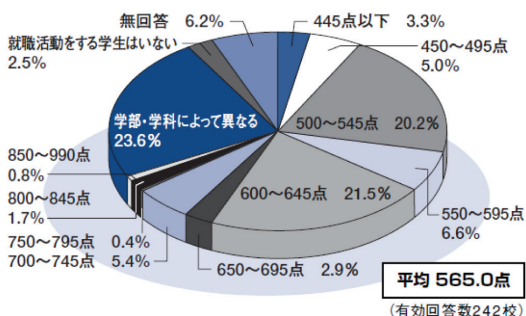
Q. 新卒新入社員に期待する英語力は、TOEICスコアでいうと約何点ですか。



大学におけるTOEIC®テストの活用

就職活動生に期待するTOEICスコア※1

Q. 就職活動をする学生に期待するレベルはTOEICスコアでいうとどのくらいですか。



さらに、就職活動を控えている皆さんに直結するデータとして、「企業が新入社員に期待する TOEIC スコア」と「大学側が就職活動生に期待する TOEIC スコア」が示されています。⁴⁾ 企業、大学とも平均550点前後という結果が示されています。

企業の中には、TOEIC のスコアを単なる英語力の測定としてだけではなく、昇進・昇格時の要件として活用している、あるいは活用する予定をしているところも少なくありません。たとえば、パナソニックでは、主事・参事昇格基準として TOEIC スコア550点を要件として設定しています。⁵⁾

このように、社会全体の英語教育に対するニーズから、多くの大学では積極的に TOEIC を授業に取り入れていこうという現実的な背景があります。TOEIC で測られている英語力は、アカデミックで高度な語学力ではなく、広く社会の中で活躍することになるであろう皆さんにとって必要性の高い、サバイバルイングリッシュであると言えるのです。

4. 手軽にできる e-learning を使った学習法

英語との付き合いが、これから先もずっと続いていくことになる考えると、大学時代の英語学習がただの「単位取得」のためだけというのは、勿体ないように思います。しかしながら、ストレスを溜めながら、嫌々勉強しても学習効果はあがりません。そこで「英語が苦手だけれど、勉強してみようかな」という方にとって、授業以外に英語の勉強を手軽に、そして楽しくできる方法をいくつか紹介したいと思います。

4 - 1. ALC Net Academy⁶⁾

オンライン上で Reading, Listening の勉強ができる e-Learning 教材です。TOEIC の試験対策用としても有効です。はじめに「語彙力診断テスト」と「リスニング力診断テスト」を受験することにより、自分の英語の語彙レベルとリスニングのレベルを把握します。学習用のユニットは、難易度

が5段階に分かれており、自分のレベルにあった問題を選んで学習することができ、効率よく英語力を付けることが可能です。また、TOEIC 用模試問題にもチャレンジでき、試験後すぐに結果が表示され、間違った箇所を復習することもできます。秋学期からは自宅のパソコンからもアクセスが可能になり、一層手軽になりました (ALC Net Academy についての詳細は語学教育研究室へ問い合わせ下さい)。

4 - 2. English Study Program (ESP)⁷⁾

日常生活で使用するレベルの語彙習得と、リスニング力強化に有効な、self-access learning 用ソフトウェアです。ご存知のように、単語を知っているだけでは、リスニング力には結び付きません。単語と単語の音のつながりによる音韻変化や脱落といったリスニング特有の現象を理解し、リスニングスキルに結び付けていくためには、聞いた音を書きとっていく作業 (ディクテーション) が有効であるとされています。ESP は、学習者のペースでディクテーションが進められるよう工夫がなされており、無理なくマイペースで取り組むことができるソフトウェアです。そしてディクテーションとともにシャドーイング (音声に続けて発音する) を行いましょう。正しく発音できてこそ、正しく聴きとることが可能なのです。

4 - 3. Espuzzle⁸⁾

アナグラムと言われている、限られた数のアルファベットを並び替えることによって、どれくらい沢山の単語を作り出していくことができるのか、を試すアルファベットを使った一種のパズルです。ゲージ (点数) が一杯になると、次のステージへ進むことができます。画面の美しさや音響効果など、学習者を飽きさせず、楽しく取り組めるような工夫があちこちになされています。自分が知らなかった単語は勿論、知っていても思いつかなかった単語を再認識することができ、楽しみながら、単語力を増強することができるソフトウェアです。ESP と Espuzzle は名古屋情報メディアセンター

の管理する実習室及び、メディアゾーン、オープンフロアに設置されているコンピュータ全てに導入されており、教員、学生の誰もが自由に使用できます（ファイルの格納場所は、スタートメニュー 全てのプログラム ESP）。⁹⁾ 時間のある時に一度試してみたいかがでしょうか。

5. むすび

ボーダレス時代に生きる皆さんにとって英語との付き合いが今後益々深まっていく可能性は非常に高いと思われます。授業で教員から「教えてもらう」以外に、様々な方法を使って「自ら学びとっていく」過程で、自分自身にとって居心地のいい学習環境と学習スタイルを見つけることができれば、もっと自律的でそして楽しく前向きに英語と関わることができ、EGP や ESP という枠組みにとらわれない、本当に自分が必要とする英語力を無駄なく習得することが可能であろうと思われます。そのために、この機会に自分が英語を学ぶ目的、ひいては自分の将来について、少し立ち止まって考えてみませんか。（次号へ続く）

参考文献・注

- 1) 竹蓋幸生・水光雅則（編）（2005）.『これからの大学英語教育』岩波書店、10-11.
- 2) 文部科学省が2003年に発表した「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」においても「英語力の指標」に TOEIC（Test of English for International Communication）が使われている。詳しくは <http://www.mext.go.jp/>
- 3) TOEIC の運営・実施は、財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会による。
http://www.toeic.or.jp/philosophy/philosophy_01.html?eno=1153
- 4) http://www.toeic.or.jp/sys/letter/NewsNR2010L_8682.pdf
- 5) Panasonic 以外にも、商社、食品、輸送用機器、機械などの TOEIC 導入活用例が紹介されている。
http://www.toeic.or.jp/corpo/archive/case01/case_t_05/
- 6) 制作者：アルク教育社

<http://www.alc-education.co.jp/academic/net/index.html>

- 7) 制作者：波多野電気

<http://www.hatano-denki.com/>

- 8) 制作者：波多野電気

<http://www.hatano-denki.com/>

- 9) 利用法等の質問は名古屋情報メディアセンターにてサポートを行っている。

二条城のソテツの木

経営学部

島田 了

二条城は、金閣寺や清水寺と並んで、誰もが知っている京都の名所である。旅行や用事で京都を訪れる人の多くが立ち寄る場所であろう。何しろ便利である、金閣寺のように街の北のはずれにあるのでもないし、清水寺のように延々と急な坂を登る必要もない。二条城前という名前の地下鉄の駅を降りる（昇る？）とすぐ目の前だから、便利なことこの上ない。そして見どころは十分にある、しかもわかりやすい。徳川の権威をこれでもかこれでもかと見せつけるための豪華な御殿である。入口からして派手な唐門である。また狩野探幽、その弟尚信ら狩野派の絵で装飾された大広間、書院など華麗な室内装飾も見事である。京都のなかでもこれほどわかりやすい名所も少ないのではないかな。

見事なのは建物だけでない、その庭園を忘れてはならない。現在の二条城には、二の丸庭園、本丸庭園、そして清流園の三つの庭園があるが、このうち現在の本丸庭園は明治になってからのもので洋風の影響を受けた庭園であり、清流園は昭和